

第1段階：大学-地域交流ラウンジの企画概要

東門向いに立地する三田商店街振興組合集会所（港区芝 5-13-1）を借用。まずは週 2～3 日程度ラウンジ・スペースを運営する。運営は大学と地域の共同で行い、オンキャンパスからオフキャンパスまで様々なワークショップや研究プログラムの実験的な実施、地域活動や研究プロジェクトなどが大学内外の組織や個人を横断しながら行われる場とする。

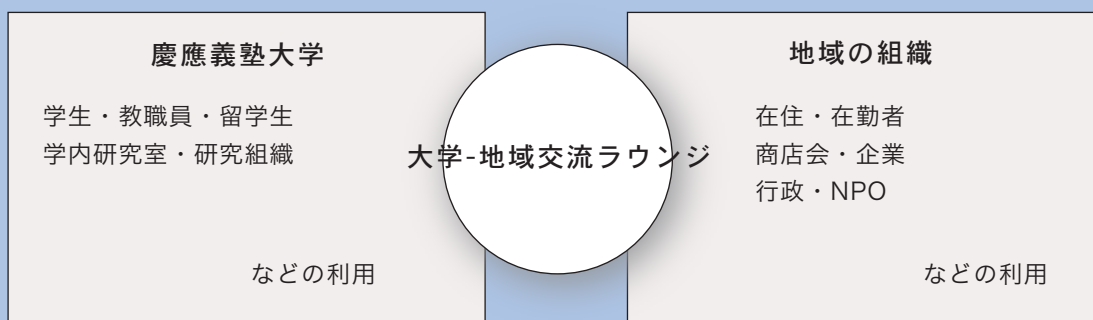
また、学生から社会人まで多領域にまたがる人々に開かれた場とするため、カフェの運営や（三田周辺にほとんど存在しない）古書店など、人の集まりやすい仕掛けを必要に応じて組み込む。



三田商店街組合振興会集会所

隣接する公園

利用イメージ



■実施機関

2004年10月～2005年9月

■場所

三田商店街振興組合集会所（港区芝 5-13-1）

■運営主体

学術フロンティア「インターキャンパスの創出による多文化共生の可能性」（別紙参照）研究メンバーのほか、教職員、学生、商店会理事、地域在住・在勤者有志によって、研究・運営組織を立ち上げ、共同運営。ただし管理はインターキャンパスプロジェクトメンバーもしくは商店会理事が行い、開催期間中は常時立ち会うものとする。